

# リュウキュウムラサキの北海道東部における初記録

松田 功<sup>1\*</sup>・佐々木 恵<sup>2</sup>

1. 099-4113 北海道斜里郡斜里町本町 49-2, 斜里町立知床博物館 2. 099-4355 北海道斜里郡斜里町ウトロ東 365, 知床ネイチャーオフィス

## First Record of Great Eggfly *Hypolimnas bolina* in Eastern Hokkaido

MATSUDA Isao<sup>1\*</sup> & SASAKI Megumi<sup>2</sup>

1. Shiretoko Museum, 49-2 Hon-machi, Shari, Hokkaido 099-4113, Japan. \*✉[isao-m@apost.plala.or.jp](mailto:isao-m@apost.plala.or.jp) 2. Shiretoko Nature Office, 365 Utoro'higashi, Shari, Hokkaido 099-4355, Japan

We observed great eggfly *Hypolimnas bolina* at Shiretoko-goko Lakes, Shiretoko Peninsula, eastern Hokkaido in October 2016. This is the first record from the eastern Hokkaido, and the northernmost domestic record in Japan.

知床半島の知床五湖においてリュウキュウムラサキ台湾型亜種 *Hypolimnas bolina kezia* を確認したので報告する。

2016年10月2日10:00, 北海道斜里郡斜里町大字遠音別村, 知床半島に位置する知床五湖の遊歩道上 (44°7'40" N, 145°5'10" E (WGS 84), 245 m alt.) において, 著者の一人である佐々木が♂1頭を発見した。しかし観光地である知床五湖のガイド業務中であつたことや, 発見地が国立公園の特別保護地区であつたことから, 記録は写真撮影に留めた。発見個体は, 前翅の一部に欠損が見られるものの良好な状態であつた (図)。

本種はマダガスカルからインド, 中国南部, 東南アジア諸国, オーストラリア, サモア諸島などの熱帯から亜熱帯に広く分布し, 国内では主に八重山諸島周辺で迷蝶として記録されている (猪又1990; 白水2006)。翅の文様や色調から大陸型, フィリピン型, 台湾型, 海洋型, 赤斑型などさまざまな亜種に分けられているが, 亜種間での交雑もあり分類は難しい (福田・二町1988)。

道内における記録は道南地域に多く, 江差町で1990年9月に♀2頭 (小林1991), 2010年8月に厚沢部町で大陸型♀1頭 (対馬・安井2011), 同年9

月に松前町でフィリピン型♀1頭 (野村2011) が採集されている。いずれも, 台風による飛来と考えられ, 今回の確認事例も8月に北海道に上陸した複数の台風による飛来と考えられる。

本報告は北海道東部におけるリュウキュウムラサキの初めての記録であり, 国内における最北の記録である。また, ♂個体の記録も北海道内では初めてである。

本稿を執筆するにあたり, 道東昆虫研究会の中谷正彦氏, 丸瀬布町昆虫生態館の喜田和孝氏, 北網圏北見文化センターの柳谷卓彦氏, 小清水町の川原進氏, 斜里町の橋本勝氏に種同定や文献などご教示いただいた。厚くお礼申し上げます。

### 引用文献

- 猪又敏男. 1990. 原色蝶類検索図鑑. 223 pp. 北隆館, 東京.
- 小林隆彦. 1991. 北海道におけるリュウキュウムラサキの記録. 蝶研フィールド6(5): 27–28.
- 白水隆. 2006. 日本産蝶類標準図鑑. 336 pp. 学習研究社, 東京.
- 対馬誠・安井徹. 2011. 松前町でリュウキュウムラサキを採集. *jezoensis* 37: 68

図. リュウキュウムラサキ台湾型亜種 *Hypolimnas bolina kezia*, 2016年10月2日, 北海道斜里郡斜里町, 知床半島知床五湖.



野村昭英. 2011. 北海道檜山郡厚沢部町におけるリュウキュウムラサキの採集記録. *jezoensis* 37: 73.

福田晴夫・二町一成. 1988. リュウキュウムラサキの諸問題. *日本鱗翅学会* 6: 35-68.